泌 尿 器 科

ＧＩＯ：　一般目標

尿路・生殖器疾患の基本的知識に習熟し、患者様・家族の方々の心情・社会的環境・権利を十分に配慮し、チーム医療のもとに診療ができる。

ＳＢＯ：　行動目標

- 泌尿器系、男子生殖器系の解剖生理・主な疾患を述べることができる。
- 患者心理を理解しながら問診し、病歴を正確に作成できる。
- 尿路及び精路（腹部・陰嚢部・前立腺など）について理学的所見がとれ異常を指摘できる。
- 尿検査、血液検査などの検査所見を正しく評価できる。
- 画像検査を読影し診断できる。
  a. KUB、ＩＶＰ、ＤＩＰ・各種膀胱造影・尿道膀胱造影・ＵＳ？ＴＲＵＳが実施でき読影できる。
  b　ＣＴ・ＭＲＩ・血管撮影ができる。
- 全身状態を考慮し、鑑別診断に必要な検査を選択できる。
- 尿路感染症・尿路結石症を診断し、救急処置実施できる。
- 排尿障害（尿閉・尿失禁など）が診断でき、導尿ができる。
- 排尿障害（排尿困難・尿失禁など）に使用する主な薬剤の作用・副作用述べることができる。
- 腎・尿路性器外傷の診断ができる。
- 小児急性陰嚢症の疑診ができる。
- 膀胱尿道鏡検査で異常を指摘できる。
- 尿道・腎瘻など留置カテーテルの理解ができる。
- 肉眼的血尿について、出血部位を推定できる。
- 腎前性・腎性・腎後性に分類し急性腎不全を診断でき、処置を述べることができる。
- 透析療法の適応および血液透析・腹膜透析の選択について述べることができる。
- 血液透析療法のブラットアクセスについて
- 腎・尿管・膀胱・前立腺・精巣の癌について、治療性を述べることができる。
- 泌尿器科手術を理解し、手術創のドレーン管理ができる。